

Fukuoka City Public Library Movie Hall

Ciné-là

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

シネラ・ニュース
August 2024

fiaf

国際フィルム・アーカイヴ連盟(FIAF)は
映画の保存を目的とする国際団体です。
福岡市総合図書館はFIAFの会員です。

8

独立愚連隊



企画上映

生誕100年 映画監督 岡本喜八

©1959 TOHO CO.,LTD

生誕100年 映画監督・岡本喜八

◎観覧料:大人=600円/大学生・高校生=500円/中学生・小学生=400円

福岡市在住の65歳以上の方・「わたすクラブ」会員・障がい者の方および介護者の方1名=300円(要証明書・会員証原本提示)

その他の上映

◎観覧料:大人=500円/大学生・高校生=400円/中学生・小学生=300円

福岡市在住の65歳以上の方・「わたすクラブ」会員=250円(要証明書・会員証原本提示)

障がい者の方および介護者の方1名=無料(要証明書提示)

◎定員(242席、車椅子席4席)・各回入替制/当日券のみ・各回上映の1時間前から販売

メロディ



企画上映

アジアの 第1期:インド篇 女性映画監督再考

おんぼろフィルム

通年上映



アーカイヴ 発見



通年上映

醜聞 スキャンダル

午前11時の 日本映画・ アジア映画 classics

生誕100年 岡本喜八 映画監督

戦争映画・アクション、時代劇：どんなジャンルも岡本喜八の手にかければ反骨精神あふれる一級の娯楽映画に！

会期：8/1(木)～16(金)
※休館日・休映日除く

1 木 14:00 独立愚連隊



監督：岡本喜八 ©1959 TOHO CO.,LTD.
出演：佐藤充 雪村いづみ

第二次大戦末期、中国山岳地帯の日本軍の中に独立愚連隊と呼ばれる小隊があった。各部隊のクズばかりを集めたと評判の部隊に、従軍記者の荒木がやってくる。死亡した弟の死因に疑念を抱き調査に来たのだ。彼の弟は交戦中に情婦と心中したとされていた。それまでの戦争映画とはまったく異なる西部劇風の戦争映画で、岡本監督の名を一躍高めた。65年までの間に計7作が作られた、岡本監督初期の代表作シリーズである。

1959年/東宝/109分/白黒
35ミリフィルム上映

8 木 14:00 江分利満氏の優雅な生活



監督：岡本喜八 ©TOHO CO.,LTD.
出演：小林桂樹 新珠三千代

36歳のサラリーマン・江分利は毎日が退屈で面白くない。江分利は酒癖が悪く、仕事の後もみんなが敬遠する。ある日江分利は雑誌記者と酒を飲み、原稿を書くことを安請け合する。困った江分利は自分の半生を小説にするのだが、大反響となり直木賞を受賞する。原作は山口瞳の直木賞受賞作。アクション映画に定評があった岡本監督が、戦中派サラリーマンの屈折した心理を見事にとらえた。挿入されるアニメーションなど演出にも工夫が凝らされている。

1963/東宝/102分/白黒
35ミリフィルム上映

3 土 14:00 大菩薩峠



監督：岡本喜八 ©1966 TOHO CO.,LTD.
出演：仲代達矢 新珠三千代

虚無剣士・机竜之介は大菩薩峠で、一人の老巡礼を何の理由もなく斬り捨てる。竜之助は何事もなかったように帰宅するが、まもなく、彼のもとに同門の宇津木文之丞の妻・お浜が訪ねてくる。中里介山の同名小説を原作に、稲垣浩、内田吐夢、三隈研次、森一生といった数々の名匠監督によって映画化されたなかで、最も制作年の新しい作品。本編2時間で94人を斬りまくるチャンバラアクション。

1966/東宝/120分/カラー
35ミリフィルム上映

2 金 14:00 日本のいちばん長い日



監督：岡本喜八 ©1967 TOHO CO.,LTD.
出演：三船敏郎 山村聰

昭和20年8月14日。特別御前会議が開催され、日本政府はポツダム宣言の受諾を決定する。さらに天皇による終戦の言葉を全国にラジオ放送することが決まる。ところがクーデター計画を練っていた畑中少佐は玉音放送を中止すべく、天皇の声が記録された録音盤を奪おうとするのだった。大宅壮一が元軍人などへの取材により完成した同名原作の映画化。東宝創立35周年記念作品。終戦の一日が緊迫感溢れる映像で描かれる。

1967/東宝/175分/白黒
デジタル上映

4 日 11:00 につぼん三銃士



監督：岡本喜八 ©TOHO CO.,LTD.
出演：小林桂樹 加賀まりこ

元陸軍中尉の戦中派・黒田忠吾(小林桂樹)、ハルピン生まれの戦後派・八木修(ミッキー安川)、終戦記念日生まれの戦無派・風見一郎(岡田裕介)。生活に不満を抱えながら、体制から抜けきれない三人が、ある日、新宿のバーで顔を合わせた。そこへ刑事に追われたマリ(藤岡麻里)が飛び込んできたことから彼らの人生は変わってゆく。鬼才・岡本喜八監督がズバリ喜劇映画の本質を貫いた痛快コメディ。 国立映画アーカイブ所蔵作品

1972/東京映画=東映/88分/カラー
35ミリフィルム上映

4 日 14:00 につぼん三銃士



監督：岡本喜八
出演：小林桂樹 ミッキー安川

東京で居場所を失った黒田、八木、風見の三人の男が博多にやってくる。三人は女親分の「カラスのお新」に拾われ、ビール作りを手伝う。そして三人は、お新たちが住む貧民街を買い取って兵器工場の建設を企む大丸建設と対決する。五木寛之の同名小説の映画化で「おさらば東京の巻」の続編。前作が心情喜劇的作風だったのに反して、今回は活劇調に仕上がって、70年代のアンサーキーな雰囲気を感じることができる。 福岡市総合図書館収蔵作品

1973/東京映画=東宝/91分/カラー
35ミリフィルム上映

7 水 14:00 16 金 14:00



監督：岡本喜八
出演：菅原文太 北大路路也

昭和25年、北九州ではヤクザの抗争がエスカレートし、橋伝組と岡源組は一触即発の状態だった。そこで小倉警察は野球大会を開催し、民主的に事態を打開しようとする。そして野球の試合に名を借りたルール無用の喧嘩野球が始まる。ヤクザ映画とスポコン映画を合体させたような荒唐無稽な展開を、スピーディーで軽快な岡本喜八監督の演出によって唯一無二の傑作コメディ映画に仕上げた。 福岡市総合図書館収蔵作品

1978/大映=東映/142分/カラー
35ミリフィルム上映

通年上映 午前11時の日本映画・アジア映画 classics

福岡市総合図書館が収蔵する映画のなかから、日本・アジア各国の選りすぐりの古典映画や名作映画を木曜、金曜、土曜に週替わりで上映します。◎すべて35ミリフィルム上映

1 木 11:00 2 金 11:00 3 土 11:00



監督：アミール・ナデリ
出演：マームド・グダズィ/シーラ・ダルビシ

1973/イラン/80分/カラー/日本語・英語字幕付き

Harmonica ハーモニカ

アブドルはみんなにいじめられる少年だった。ところがおじいさんから日本製のハーモニカをもらって、みんなハーモニカがうらやましくてアブドルにお菓子を持ってくる。次第にアブドルは傲慢になっていく。イスラム革命前のイラン映画の代表的作品。力と権力の構造を寓話的に表現した作品で当時論議を巻き起こした。

8 木 11:00 9 金 11:00 10 土 11:00



監督：黒澤明
出演：山口淑子 三船敏郎

1950/松竹(大船)/108分/白黒

醜聞 スキャンダル

画家・青江一郎は人気歌手の西條美也と偶然知り合う。二人が話しているところを雑誌記者が写真を撮り、二人のラブロマンスをでっちあげる。怒った青江は雑誌社に乗り込み記者を殴ってしまう。マスコミの過剰なスキャンダルリズムをテーマとしているが、コミカルなシーンも多く全体にユーモラスな雰囲気がある。巨匠・黒澤明が初めて松竹で監督した作品。映画の中心は正義と不正義の間で揺れる弁護士と悪徳に置かれている。

15 木 11:00 16 金 11:00 17 土 11:00 Pather Panchali 大地のうた



監督：サタジット・レイ
出演：シュビル・パナルジー/ウマ・ダーシュグプト

1955/インド/125分/白黒/日本語字幕付き

ベンガル地方の村。少年オパーの父親ハリホルは最上位カーストのパラモンだったが、収入は低く生活は苦しかった。家にはハリホルの親戚の老女インディルが同居していたが、ある日家族との諍いで家出し死んでしまう。インド映画の世界的巨匠サタジット・レイのデビュー作。当時のインドでは歌も踊りもない映画がヒットすることは稀有な事件であった。世界中で上映されインド映画を世界に知らしめた傑作である。

22 木 11:00 23 金 11:00 24 土 11:00



監督：川島雄三
出演：フランキー堺/石原裕次郎

1957/日活/110分/白黒

幕末太陽傳

明治維新が迫った頃、佐平次は品川の遊郭で贅沢三昧をするが、実は一銭も持たず、結局働いて返済することになる。佐平次は按摩から時計の修理まで何でも器用になし、遊女たちに重宝がられるようになる。落語の「居残り佐平次」などを骨格としたオリジナル作品。フランキー堺の見事な演技、川島監督のテンポの良い演出により、本作は日本映画最高のコメディ映画と評される。日活創立100周年記念として、国立近代美術館フィルムセンターとの共同事業でデジタル修復された。

企画
上映

アジアの 第1期:インド篇 女性映画監督再考

アジア各国の女性監督によって制作された作品を継続的に特集上映します。

会期:8/17(土)~30(金)※休館日・休映日除く

◎すべて福岡市総合図書館収蔵作品/35ミリフィルム上映

17(土) 14:00 30(金) 14:00

希望の行方 The Immigrants



水のない貧しい村でバルシラームは井戸を掘り続けていた。彼の弟は大会ボンベイに出ており村に帰らない。彼の友人はボンベイでお金を貯めて村に帰ろうと考えていた。映画は3組の夫婦のそれぞれのあり方の中に、インド社会が抱える様々な問題を織り込んでいく。大衆のエネルギーと逞しさを悲喜劇として描いた作品。

監督:サイー・バラーンジデー
出演:シャバーナー・アーズミー
ナーナ・パーターカル

1990/インド/132分/カラー/日本語・英語字幕付き

18(日) 11:00 29(木) 11:00

飛びたち The Flight



1940年代のアッサム地方を舞台とした物語。パラモン教のサトラの家に二人の未亡人、ドゥルガとゴハニが暮らしていた。そこに娘のギリバラがやはり夫を亡くして帰ってくる。夫を亡くした女性には生涯未亡人のまま過ごさねばならない、という封建的な思想が生きていた時代。女性の自由を求める主人公ギリバラの姿が、女性監督らしい繊細な映像で描かれる。

監督:ハントーナ・ボルドロイ
出演:トゥリシャ・サイキア
トム・アルター

1996/インド/98分/カラー/日本語・英語字幕付き

18(日) 14:00 22(木) 14:00

メロディ Melody



マンシとパンシの姉妹は両親の死後、ボンベイにやってくる。歌のうまい姉のマンシは映画の歌の歌手として成功する。妹は結婚するが、やがて歌の才能があることが分かりデビューする。姉のマンシは妹の才能を妬み、反発するようになる。1950年代にインド娯楽映画の歌を歌った実在の姉妹の物語で、女優シャバーナー・アーズミーの気品ある演技が素晴らしい。(5分間の休憩あり)

監督:サイー・バラーンジデー
出演:シャバーナー・アーズミー
アルナ・イラーニー

1997/インド/154分/カラー/日本語・英語字幕付き

23(金) 14:00 24(土) 14:00

パロミタ House of Memories



パロミタはビレシュと結婚するが、ビレシュは酒癖の悪い男だった。パロミタに子どもが生まれるが、子どもは脳性小児麻痺だった。ビレシュはパロミタを責め、家庭は上手くいかなくなる。コロクタの中流家庭の物語だが、義母のシヨヌカとパロミタが本作の中心人物であり、家庭の中で少しずつ変わる女性の立場が描かれる。

監督:アバルナ・セン
出演:アバルナ・セン
リトゥボルナ・シェングプト

1999/インド/130分/カラー/日本語・英語字幕付き

25(日) 14:00 28(水) 14:00

Mr.&Mrs.アイヤル Mr. and Mrs. Iyer



タミル人のアイヤル夫人はバスに乗って帰郷する。ところがイスラム教徒とヒンドゥー教徒の紛争が起き、ヒンドゥー教徒の暴徒がバスに乗り込んでくる。アイヤルは同じバスに乗っていたイスラム教徒の写真家ラジャを、とっさに夫だと証言し助けるのだった。宗教対立を背景にした作品。生き延びるために夫婦と偽った二人の逃避行が緊迫感あふれる映像で描かれる。

監督:アバルナ・セン
出演:ラーフル・ボース
コンコナ・センシャルマー

2002/インド/123分/日本語・英語字幕付き

25(日) 11:00 29(木) 14:00

僕はジダン Little Zizou



ムンバイに住む少年ザークスは大のサッカーファン。彼の父親クダージーはゾロアスター教の宗教指導者だった。そんなクダージーを新聞社のボーマンは批判する。しかしザークスはボーマン家の娘リアナが大好きだった。ペルシャ系インド人パールシーのコミュニティをコミカルに描いた作品。テンポの良い展開と漫画を取り込んだ娯楽作品。

監督:スーニー・ターラーワラー
出演:ポーマン・イラーニー
ゼノビア・シュロフ

2007/インド/101分/カラー/日本語・英語字幕付き

21(水) 14:00 30(金) 11:00

妻は、はるか日本に The Japanese Wife



ベンガル地方の住むスネホモイは大学生の時、19歳の日本人女性、ミヤゲとペンフレンドになる。二人とも内向的な性格で気が合った。大学を卒業して先生になったスネホモイに結婚の話が来たことを知ったミヤゲは、スネホモイに求婚する。イギリス在住の作家クナル・バスの原作の映画化。水彩画を思わせる映像。夢を見るように純粹でプラトニックなラブストーリーである。

監督:アバルナ・セン
出演:ラーフル・ボース
高久ちぐさ

2010/インド/105分/カラー/日本語・英語字幕付き

通年
上映

アーカイヴ発見

収蔵作品のなかから、実験映画、日本・アジアの現代映画など機会の少ないレア作品を土曜の夕方に上映します(一部期間を除く)。※作品タイトル横の数字は上映順です。

10(土) 17:00 24(土) 17:00

眠り姫

3(土) 17:00 17(土) 17:00

手塚治虫集 (5作品/計104分/35ミリフィルム上映)

1 ある街角の物語

製作・構成:手塚治虫

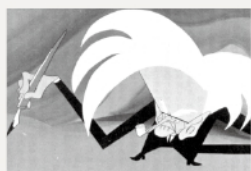


漫画家・手塚治虫が設立した虫プロダクションの記念すべき第一作。街角に張られた沢山のポスターの中のバイオリン弾きの青年と、ピアノ弾きの少女の恋を中心に進むセリフなし(音楽のみ)作品。

1962/虫プロダクション/39分/カラー

2 展覧会の絵

総監督:手塚治虫



ムソルグスキーの組曲「展覧会の絵」にアニメーションを付けた作品。演奏は東京交響楽団。様々なテーマでイマジネーション溢れる映像が展開する。

1966/虫プロダクション/32分/カラー

3 JUMPING

少年がスキップしながら通りを歩いている。車に衝突しそうになりジャンプをする。ジャンプを続けるうちにどんどん大きくなり、町を飛び越え、森を越え、

監督・脚本:手塚治虫

4 おんぼろフィルム

監督・演出:手塚治虫



第1回広島国際アニメーション映画祭グランプリ受賞の短編作品。手塚治虫の実験アニメーションの代表作で、全編にギャグを散りばめた、サイレント連続活劇へのオマージュ的作品。

1985/手塚プロダクション/6分/カラー

5 森の伝説

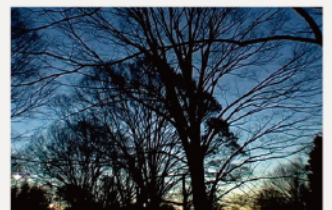
監督・原案・構成:手塚治虫

チャイコフスキーの「交響楽第4番」の調べにのり、生命の尊さと自然破壊への警鐘を描くアニメーション。アニメ創世記からテレビ・アニメに至るアニメーションの歴史を振り返る意欲作。

1987/手塚プロダクション/29分/カラー

都市を越え、国を超え、海を越えて、どんどん遠くへジャンプして行く。

1984/手塚プロダクション/6分/カラー



ほとんどの人の姿が映らない空っぽの風景にさざめく、濃密な人の気配と声。静かに狂気を孕んでいく男女の日常が、美しい朝焼けや薄明の光景とともに、声や物音だけでつづられていく。山本直樹原作の同名漫画は、幻聴を主題にした内田百閒の『山高帽子』を下敷きにしている。2007年の初公開から毎年アンコール上映が繰り返されているほど、熱狂的なファンを持つカルト映画。

監督:七里圭
声:つぐみ
西島秀俊
山本浩司

2007/日本(Charm Point)
80分/カラー/デジタル



1木	11:00 ハーモニカ	14:00 独立愚連隊	
2金	11:00 ハーモニカ	14:00 日本のいちばん長い日	
3土	11:00 ハーモニカ	14:00 大菩薩峠	17:00 手塚治虫集
4日	11:00 にっぽん三銃士 おさらば東京の巻	14:00 にっぽん三銃士 博多帯しめ一本どっこの巻	
5月	休館日		
6火	休映日		
7水		14:00 ダイナマイトどんどん	
8木	11:00 醜聞 スキャンダル	14:00 江分利満氏の優雅な生活	
9金	11:00 醜聞 スキャンダル	14:00 にっぽん三銃士 おさらば東京の巻	
10土	11:00 醜聞 スキャンダル	14:00 独立愚連隊	17:00 眠り姫
11日	11:00 大菩薩峠	14:00 ダイナマイトどんどん	
12月休	11:00 江分利満氏の優雅な生活	14:00 にっぽん三銃士 博多帯しめ一本どっこの巻	
13火	休館日		
14水	休映日		
15木	11:00 大地のうた	14:00 日本のいちばん長い日	
16金	11:00 大地のうた	14:00 ダイナマイトどんどん	
17土	11:00 大地のうた	14:00 希望の行方	17:00 手塚治虫集
18日	11:00 飛びたち	14:00 メロディ	
19月	休館日		
20火	休映日		
21水		14:00 妻は、はるか日本に	
22木	11:00 幕末太陽傳	14:00 メロディ	
23金	11:00 幕末太陽傳	14:00 パロミタ	
24土	11:00 幕末太陽傳	14:00 パロミタ	17:00 眠り姫
25日	11:00 僕はジダン	14:00 Mr.&Mrs.アイヤル	
26月	休館日		
27火	休映日		
28水		14:00 Mr.&Mrs.アイヤル	
29木	11:00 飛びたち	14:00 僕はジダン	
30金	11:00 妻は、はるか日本に	14:00 希望の行方	
31土	自主上映/福岡インディペンデント映画祭 シネラニュース9月号に情報掲載		

企画上映/生誕100年 映画監督・岡本喜八

企画上映/アジアの女性映画監督再考 第1期:インド篇

通年上映/午前11時の日本映画・アジア映画クラシックス

通年上映/アーカイヴ発見

アジアの女性監督たち

8月から福岡市総合図書館が収蔵するアジア映画の中から女性監督の特集をスタートします。収蔵するアジア映画は900本を超えていて、昨年11月に着任してから、アジア映画の専門ではない私が、どうやってアジア映画をリサーチして、上映を組んでいくかいろいろと方法を考えました。日本の映画ファンにも馴染みのある国もあればそうでない国もあり、映画祭で世界的な評価を得ている作家もいたり...国・地域ごとに調べるにしても、ちょっと途方に暮れます。

ふと思いつきで、女性監督をピックアップしてみることにしました。世界的にも映画史をこれまでとは異なる角度から再評価する動きが高まっています。ただ、アジアのいろいろな国の映画を横断して、収蔵している映画の中から、女性監督の軸で編みなおして特集することは、おそらくこのフィルムアーカイヴもできないことではないかと思っています。果たしてどのくらい女性監督作品が上映できるのか、特集が組めるくらいあるといいなと思っていざ調べてみると、予想していたよりも多くの作家がアジアにはいることがわかってきました。まだまだ掘り起こしの最中ですが、女性作家の作品群を今、まとめて見てみることで、主に男性作家の映し出してきた映画史の風景とは違って見えるのか、自分も、皆さんと一緒にスクリーンで見て発見していきたいと思っています。

各監督の最新のプロフィールはシネラのホームページに掲載します。そちらもぜひ読んでみてください。

ヒンドゥー語映画界における女性監督のバイオニア的存在であるサイー・パラーンジペー監督は、福岡に来られた際にフィルムアーカイヴを設置することを提言してくれました。現在に至る道筋を示してくれたパラーンジペー監督に謝辞を示し、第1期は「インド篇」を、9月の第2期はアジアフォーカスの常連だったアン・ホイ監督作品などの「香港=台湾篇」を準備しています。お楽しみに。

(学芸員・杉原)

INFORMATION

シネラの券売機について

7月より新紙幣が発行されましたが、シネラのチケット券売機は新紙幣未対応です。恐れ入りますが、新紙幣しかお持ちでない場合は受付にて両替をお願いいたします。



来月のシネラ予告

9/1~ アジアの女性映画監督再考 第2期
香港=台湾篇

「玻璃の城」1998/香港

Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-là

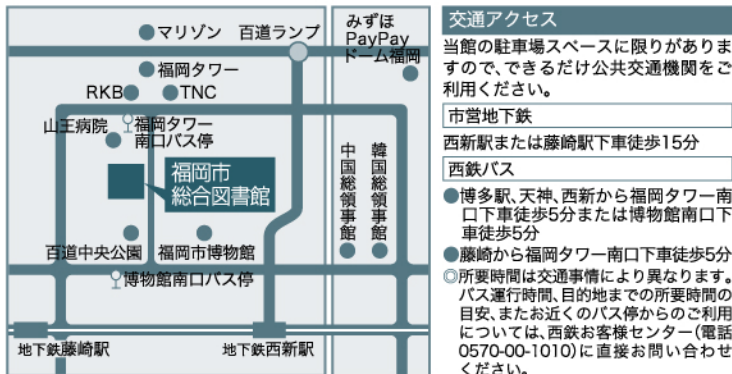
福岡市総合図書館映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

福岡市総合図書館(代表) Tel.092(852)0600 Fax.092(852)0609

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ ホームページ

うえぶシネラ <http://www.cinela.com>



交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

市営地下鉄

西新駅または藤崎駅下車徒歩15分

西鉄バス

●博多駅、天神、西新から福岡タワー南口下車徒歩5分または博物館南口下車徒歩5分

●藤崎から福岡タワー南口下車徒歩5分
○所要時間は交通事情により異なります。バス運行時間、目的地までの所要時間の目安、またお近くのバス停からのご利用については、西鉄お客様センター(電話0570-00-1010)に直接お問い合わせください。

助成: NCF 公益財団法人 西日本シティ財団

発行: 映像ホール・シネラ実行委員会

※グリーン購入法に適合している用紙を使用しています